

# なぜ、コロナ禍でリニア工事やるの!

リニア災害を引き起こす相模原での危険な状況について考える

今回のコロナ禍で将来的にビジネス客や旅行客など鉄道利用者は減少し、利用客が2割減るだけで東海道新幹線の収支は赤字になると見られます。リニア沿線各地では、工事残土の処理場所が決まらないことや、地盤陥没や工事道路の地滑り、非常口工事現場の地下水噴出などがあって、場所によっては工事が3年も遅れています。

しかし、JR東海は、ここ相模原でも次々と工事の入札を行い、限られた地権者のみに説明会を行ったり、個別に用地買収を進めています。地元関係者の報告で実態を明らかにするとともに、時代の転換点を迎えたこれからの街づくりをご一緒に考えて行きましょう。

と き 10月18日(日) 13:30~16:00  
ところ ソレイユさがみ セミナールーム1  
橋本駅北口徒歩1分 (イオン6階)  
資料代 500円 ☆ 先着90名

## 【報告内容】

- (1) 沿線各地の状況
  - ① 南アルプス地域の長大トンネル
  - ② 大深度地下トンネル  
(東京・川崎・名古屋など)
  - ③ 水枯れ問題(山梨・静岡など)
  - ④ 裁判のとりくみ
- (2) 相模原市内の状況
  - ① 橋本(相原高校跡地・トンネル真上の住宅地)
  - ② 小倉(変電所)
  - ③ 鳥屋(車両基地)
  - ④ 新戸採石場(残土処分)
  - ⑤ その他  
・津久井農場計画問題
- (3) これからのとりくみ



参加者へのお願い マスク着用、手指消毒、受付名簿記入などにご協力ください。  
\* なお、体調がすぐれない場合は、ご参加を見合わせてください。

主催：相模原市九条の会連絡会

連絡先：090-6194-2603 (鈴木)

共催：リニア新幹線を考える相模原連絡会

連絡先：090-2404-0597 (建部)